

茨城大学教育学部附属中学校

令和3年度 授業研究会（二次案内）

社会を創る自立した生徒の育成（3年次）

～各教科等において共通に育む資質・能力の伸長を促す手立てを通して～



オンライン開催

第1日：8月3日（火）

第2日：8月10日（火）

授業公開：YouTubeにて

開催日3日前から限定公開

研究協議：Zoomにて

参加無料

お申込み



お申し込み締切

7/30（金）

<https://forms.office.com/r/uSYhG1Pkkv>

<日程>

9：30～ 授業参観
(Zoom動画共有で配信)
10：00～ 全体会
10：30～ 研究協議, 講師助言
12：00 閉会

本校では、「社会」を「複数の人と構成する空間の総称」と捉え、「社会を創る自立した生徒の育成」の研究に取り組んでいます。

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善や、学びを自己の成長につなげる「内省」に焦点をあて、社会に「参画・貢献」していく生徒の育成を目指します。

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンライン開催にいたします。新しい様式による授業研究会は、公開期間に授業を詳細に検討できること、空間的距離があっても無理なく参加できることなど、これまでにない利点があります。ICT教育対応のコンテンツ開発も進み、教育方法のパラダイムシフトの時期といえます。

ぜひともオンラインで御参加いただき、本校の取組に御意見を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年6月

茨城大学教育学部附属中学校長 小口 祐一

御参加方法

- ・左のURL又はQRコードより申込フォームにアクセスしてください。(フォームが使用できない場合は、御相談ください。)
- ・氏名、メールアドレス、参加希望の教科等を入力し、お申し込みください。
- ・開催日の3日前までにお申込みいただいたメールアドレスに授業動画のURLと研究協議のZoom IDが届きます。
- ・事前に動画を視聴し、当日研究協議に御参加ください。(当日も動画共有で参観いただけます。)

<参会特典> 御参会いただいた方に、参考資料として、各教科で作成した新指導要領対応年間指導計画をPDFで配付いたします。

後援：茨城県教育委員会／茨城県教育研究会

公開授業・研究協議①

公開：7月31日（土）～8月3日（火）YouTube限定配信にて
研究協議：8月3日（火）10：30～ Zoomにて

教科	授業者 公開学級	授業説明	共通に育む 資質・能力	助言者 共同研究者
国語	小林 圭太 3年3組	「自分と言葉を見つめる」 これまで使ってきた言葉と改めて向き合い、自分と言葉の関係について探究します。複数のテキストを読み、友達と関わり合いながら、自分の考えを広げ、深めていく授業を提案します。	受容	茨城県教育庁学校教育部 義務教育課 鈴木 優子 先生 茨城大学教育学部 鈴木 一史 先生
理科	杉山 賢祐 2年3組	「動物の体のつくりと働き」 動物の体のつくりと働きについて、肺や血管、心臓に着目して考察していきます。各器官の働きを理解するだけでなく、動物の生命維持活動には、無意識に行われる器官同士の働きが欠かせないことに気付き、知識や技能を活用しながら体験的に学習していく授業を提案します。	問題解決 能力	茨城県教育庁学校教育部 義務教育課 中川 卓浩 先生 茨城大学教育学部 宮本 直樹 先生
技術・家庭 (技術分野)	滝本 穰治 1年1組	「災害現場の問題を様々な技術で解決しよう」 豪雨災害後の復旧作業や人命救助に関する場面における課題をもとに、必要とされるマシン（LEGO EV3）をグループで開発します。開発したマシンをよりよくするために、技術の見方・考え方を働かせ、発想を結び付けながら、最適化の思考を深める授業を目指します。	創造する力	茨城県教育庁学校教育部 義務教育課 湯浅 泰隆 先生 茨城大学教育学部 大西 有 先生
保健体育	矢吹 幸徳 3年1組 3年2組	「器械運動（跳び箱運動・マット運動）」 選択学習の一環で、器械運動を学習します。自分が望むゴールの姿に近づくために、何が不足しているのか、どのような運動をしたらよいか、どのような場を設定をしたらよいかについて、既習の知識や技能を活用しながら、学習過程を「自分たちで創っていく」授業を提案します。	問題解決 能力	茨城県教育庁学校教育部 保健体育課 塚田 勝之 先生 茨城大学教育学部 吉野 聡 先生

公開授業・研究協議②

公開：8月7日（土）～8月10日（火）YouTube限定配信にて
研究協議：8月10日（火）10：30～ Zoomにて

教科	授業者 公開学級	授業説明	共通に育む 資質・能力	助言者 共同研究者
社会	奥谷 大樹 3年4組	「日本はどのような国なのか」 歴史的分野の学習を総括し、「日本はどのような国なのか」という問いを探究していきます。事象と事象を関連付け、歴史的な見方・考え方を働かせて考察・表現することで「日本の歴史像」を見出し、公民的分野への円滑な接続を図るための授業を提案します。	創造する力	茨城県教育庁学校教育部 義務教育課 紫村 拓也 先生 茨城大学教育学部 村山 朝子 先生 木村 勝彦 先生
数学	庄司 貞夫 3年2組	「標本の大きさについて考えよう」 標本調査を行う際に必要な標本の大きさについて考えていきます。標本調査からその差異を見つけ出す活動を通して、母集団の傾向を推定するために、なぜ標本を無作為に抽出することが必要になるのか、どの程度の標本の大きさが必要となるのかについて考察していく授業を提案します。	問題発見 能力	茨城県教育庁学校教育部 義務教育課 緑川 和良 先生 茨城大学教育学部 荻原 文弘 先生
技術・家庭 (家庭分野)	関根 久美 1年2組	「食品の裏側を探ろう」 消費者が食品を購入する際、パッケージから読み取れる情報にとどまらず、食卓に並ぶまでにどのような過程を経ているのかなどについて探ります。食品を選択する際に、どのように情報を読み取り、何を根拠として判断すべきかを考察していく授業を提案します。	意志決定力	茨城県教育庁学校教育部 義務教育課 小飼 美保 先生 茨城大学教育学部 野中美津枝 先生
外国語 (英語)	上曾恵理子 3年1組	” Haiku in English” 生徒が創作した英語の俳句を用いて対話型鑑賞を行います。考えたことや感じたこと、その理由などを述べ合っていきます。その上で、相手に分かりやすく伝えるよう、既習表現を駆使して書いていく活動を通して、自己表現力を高めていく授業を提案します。	自己表現力	茨城県教育庁学校教育部 義務教育課 入之内昌徳 先生 茨城大学教育学部 齋藤 英敏 先生

お問合せ先 茨城大学教育学部附属中学校（研究主任 井上 寛士）

〒310-0056 茨城県水戸市文京1-3-32

電話：029-221-5802

URL：http://www.jsch.ibaraki.ac.jp

FAX：029-221-3387

E-mail：jhs@ml.ibaraki.ac.jp